


教材教具名 光るペープサート	教科 (国語)	
教材教具写真		
		
裏 (目の部分)	裏 (スイッチ)	表 (本体)
教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等		
<p>1 ねらい 物語「3びきのやぎのがらがらどん」のペープサートをより注目させ、興味をもって見るようにする。</p> <p>2 発達段階など 2クラス合同なので発達段階の幅はある。</p> <p>3 使い方 ペープサートは、動かして使う。裏と表に違う表情を用意していたりすることはある。今回はスイッチで目を光るようにした。劇のストーリーに合わせて「ここぞ!」という場面で目を光らすことで、悪役の怖さを表現したり、台詞と同時に光らせることでより強調したりした。また、視覚的にしっかり見ることがまだ上手ではない児童には近よって光るところを見せた。</p>		
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)		
<p>○使ってみて 光ることに気づいて興味をもち、よく見ている児童もいた。自分で光のを操作したがる児童もいた。トロルの絵自体をもっと恐く作っても良かったかもしれない。</p> <p>○改良について 壊れた玩具の中に入っていた発光ダイオードを再利用して、ペープサートの鬼(トロル)の目の部分を光るように改良した。部品を電気屋で調達してつくることも可能だろうが、ボタン電池を入れるソケットにお手頃な物が見つからないので、壊れたおもちゃを再利用した。光の明るさはもう少し明るくできると良かったかもしれない。最近の発光ダイオードは、いろいろな光り方をしたり、色もいろいろあるので工夫してみるとよいだろう。</p>		